

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が2月21日、22日、24日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

坂本達夫議員

- 令和4年度当初予算と市長公約について
- 権現堂公園のサクラの世代交代について
- 電気自動車充電器について
- アスカル幸手(メインアリーナ・さくらホール)の危険な階段について
- ハッピーエール券の発送について

大平泰二議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 高齢者・障害者対策について

四本奈緒美議員

- がん対策について
- 防災対策について
- SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みについて

本田謡子議員

- 避難所におけるトイレについて
- コロナ禍での市長の危機管理と行動について
- 幸手市のホームページについて

海老沼隆夫議員

- コロナ禍における市民の活動について
- 道路側溝の土砂の撤去・改善について
- 危険な県道について
- 市長の選挙公約の実現について

藤沼貢議員

- 人口減少問題について

小林英雄議員

- 幸手市公共施設個別施設計画について
- 成年年齢が18歳になることについて

松田雅代議員

- 幸手消防署建て替え計画への対応について
- 香日向汚水処理場の公共下水道接続までの維持管理、市の支援強化について

小河原浩和議員

- 市内循環バスの充実について
- 過密する放課後児童クラブについて市長に伺う

青木章議員

- 市街地火災について
- 新型コロナウイルスの現況と対応について
- 新型コロナウイルスの子どもへの対応について

小林啓子議員

- 幸手市におけるプラスチックごみについて
- 令和4年度幸手市文化祭について

枝久保喜八郎議員

- 組織と人事の今後の在り方及び人材育成について
- 水道の民営化について
- 公共施設の安心安全や快適さが人口問題に与える影響について
- 火災被災者への緊急対応について

木村治夫議員

- 農業振興地域整備計画変更事業について
- 防犯のまちづくり推進事業について

武藤壽男議員

- 幸手市の当面の行政課題と実施計画など、それらの取り組みと対応について

「議会報告会」に対して寄せられた意見要望等について

昨年度の「議会報告会」については、コロナ禍の影響により中止といたしました。市民の皆様から、市議会や市政に対して下記のとおり「ご意見・ご要望」が寄せられました。市からの回答と併せてお知らせいたします。市議会として引き続き皆様の声が市政に反映されるよう努めてまいります。

質問 幸手駅西口周辺に駐輪場を設置する予定はありますか

答 現在のところありません。(危機管理防災課・まちづくり事業課)

質問 「子育て世帯への臨時給付金」の所得制限を撤廃できませんか

答 国の要領に則り実施するため、撤廃の考えはありませんが、別の角度から更なる子育て支援の充実に努めます。(こども支援課)

要望 福祉施設に行く場合に、年齢制限を設け要支援・要介護認定者及び訪問・お見舞に行く方に対しタクシー割引制度を新設してほしいです

答 先進自治体の事例を参考にしながら、タクシー割引支援制度等も含め、総合的な施策について慎重に検討します。(介護福祉課)

市役所駐車場の電気自動車充電器について



坂本達夫議員

Q

電気自動車は、バッテリーに蓄えた電気力で走り、二酸化炭素や人体に有害な窒素酸化物を出しません。また、太陽光、風力などの再生可能エネルギーで発電した電気を使うことにより、電気自動車は一層環境にやさしい乗り物となる。

幸手市役所には、電気自動車

A

普及のため電気自動車充電器が設置されている。利用時間は、平日9時から16時までとなっておりが、平日だけでなく、土曜日、日曜日、祝日まで利用できるようにならないか伺う。

(総務部長)

幸手市のPRにつながるものと考えられる。
については、利用機会の拡大の実施にあたってはいくつかの課題もあることから、今後、先進事例の情報収集を行うなど、効果的な利用方法等を検討していく。

障害者年金の手続きについて



太平泰二議員

Q

障害者年金の説明・取り扱いについて伺います。障害者基礎年金は市の窓口、障害者厚生年金について「年金事務所に行って手続き」と言われるが、障害者が春日部市や加須市に向いての手続きは大変です。書類作成など職員のサポート等、市の対応について伺います。

A

障害者年金は、年金事務所にてお手続きいただくこととなりますが、一部は国の法定受託事務として、市の窓口でもお取り扱いすることができます。

(市民生活部長)

軽減できるよう配慮してまいります。



幸手市のSDGsの取り組みについて



四本奈緒美議員

Q 市政運営の基本となる第6次幸手市総合振興計画後期基本計画が3・4・5年度の3か年で策定される。幸手市公明党が「令和4年度予算編成並びに施策に関する要望書」で求めている「SDGsが掲げる課題への具体的取り組み」を活かした総合振興計画の策定を提案するが、市の所見を伺う。

A 庁舎各課の受付に、関係するSDGsのアイコンを表示して、市民に周知・啓発をしていくべきと考えるが、市の所見を伺う。

Q 当市においては、「第2期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等において、関連するSDGsの基本目標を表示している。「第6次幸手市総合振興計画後期基本計画」においてもSDGsの理念を反映させ、引き続き持続可能なま

A ちづくりを推進していく。今後については、市の広報紙やホームページ、ポスターの掲示等、市民の皆様へ、さまざまな手法での周知・啓発に努めつつ、御提案の内容についても検討をしてまいります。
(総合政策部長)



必要があります。また、使用済みの袋の処分も課題となります。今後も簡易トイレの備蓄を進めるとともに、避難所で適切にトイレの管理ができるよう、使用の手順をまとめたいと考えています。
(市民生活部長)

避難所に必要な「トイレ」は大丈夫ですか



本田謡子議員

Q 阪神・淡路大震災では、仮設トイレの便槽が満杯になり、使用禁止があちこちに出ました。また、新潟県中越地震では、車中の避難生活者はトイレのために飲食の摂取を控え、その結果エコノミー症候群を引き起こすこともありました。そして東日本大震災では、汚水が流れないため水洗トイレ

A 避難所開設時に施設のトイレが使用できなければ、簡易トイレを設置します。この場合は、避難者が気兼ねなく使用できるように配慮する

Q 阪神・淡路大震災では、仮設トイレの便槽が満杯になり、使用禁止があちこちに出ました。また、新潟県中越地震では、車中の避難生活者はトイレのために飲食の摂取を控え、その結果エコノミー症候群を引き起こすこともありました。そして東日本大震災では、汚水が流れないため水洗トイレ

A 避難所開設時に施設のトイレが使用できなければ、簡易トイレを設置します。この場合は、避難者が気兼ねなく使用できるように配慮する





藤沼貢議員

人口減少問題について

Q 人口の減少を少しでも抑止するため、市民等民間を中心とした「対策協議会」（仮称）の設置の考えはあるか。又、駅西口開発においても、商業事業者や企業の進出を促すよう、市として積極的に動くと思うが市の考えを伺います。

A 人口減少問題を取り扱う「幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議」を継続していくとともに、市民の皆様にご参加いただけるような場も設けつつ、御意見を拝聴してまいります。

幸手駅西口開発につきましては、用途地域の変更など、店舗等の立地誘導を図ってまいりました。

また、現在は、スーパーなどの事業者に出店を検討していた



海老沼隆夫議員

国道4号芝原交差点手前危険な県道について

Q 県道惣新田幸手線、八字カーブ箇所両側の木立、又、国道4号バイパス芝原交差点手前、天神橋手前の県道の急カーブ地点は、外側線もセンターラインの白線も消え、夜間などはとても危険です。先の議会で、県に再度要望していくとの答弁を市から頂きましたが、市民の

命も守るためにもその後の進捗状況について伺います。

A 県道惣新田幸手線の危険な箇所については、12月市議会定例会で議員からのご質問を受け、道路管理者である埼玉県に改善要望をしております。今回、進捗を確認したところ、まず、八代郵便局先のS字カーブ箇所の木立につきましては、県から土地所有者に適切な樹木管理のお願いをしていると



伺っています。次に、天神橋手前の急カーブ地点については、県が4月以降速やかに外側線とセンターラインの引き直しを実施すると伺っています。

（建設経済部長）

危険な幸手市庁舎、耐震無対策は県内唯一



小林英雄議員

Q

昨年一二月に、総務省消防庁が発表した、市庁舎等耐震化状況の調査結果によると、埼玉県内（六三市町村）において、庁舎の耐震基準を満たしていない自治体は十一あった。調査は令和二年に行われており、現在は、庁舎完成4、着工し完成待ち4、計画設計中2、であり、唯一無対策なのは、幸

A

手市だけとなった。市民、職員
の安全確保を第一に、最短で建築できる内容や方法、既存の施設を活用した、組織、機能分散移転などを検討し、早急に進めるべきと考えるが見解を伺う。

市役所本庁舎は、多くの市民の方が来庁する施設であり、災害時には防災拠点となる施設でもある。そのため、強度不足、耐震性に欠けているということは、好ましい状

況ではないことは十分認識している。

庁舎建設に関しては、できる限りスピード感をもって事業を進めていきたいと考えている。

なお、これには多額の財源を要することから、令和4年度当初予算において、庁舎建設基金に1億円を積み立てることとした。

（総合政策部長）

幸手消防署建て替え計画への市の対応は



松田雅代議員

Q

埼玉東部消防組合は、同組合公共施設個別施設計画において、2029年度までに幸手消防署を含む3施設の建て替えを計画している。同組合はこれから関係市町と協議を始めるということだが、協議はいつ頃から始まるのか。建て替え協議、計画（時期・規模・移転・工事費など）に臨む市の考

A

えを伺う。

また、特に移転を伴う建て替えの必要性が生じる場合、市民への説明は欠かせない。市民への説明についての市の考えを伺う。

幸手消防署の建て替え計画は、現在、東部消防組合で策定中であり、幸手市に正式に示されるのは、4月以降と思われる。従って、協議の時期は決まっていない。計画に対して、組合側の考え方が示され

てから、幸手市の方針を検討したい。また、市民への説明時期についても未定である。

（市民生活部長）





青木章議員

二月二日発生の中三丁目地内住宅火災について

Q

幸手市中三丁目、幸手小学校北側の交差点付近で、爆発を伴う火災が発生しました。この火災の被害状況について伺います。当日7台の消防車が出動しましたが、現場により近い幸手消防署からは2台だけでした。遠くは白岡からも車両が出動し、この対応の遅れた原因のひとつは幸手西分署廃

A

止があります。「西分署存続」が公約だった市長の責任は重大です。そこで、市長は火災当日現場に行きましたか。また、消火等対応について職員に指示を出したか伺います。

消火等の対応について、職員に指示はしていません。
(市長・市民生活部長)



小河原浩和議員

市内循環バスの充実・早期の検討や見直しを

Q

多くの市民から「一日の本数があまりにも少ない」「バス停とバス停の間隔が離れすぎている」などの意見が寄せられている。市長の政治姿勢として、スピード感を持った行政運営やPDC Aサイクルを回すことを掲げているが、市民の声を反映した早期の市内循環バスの検討や見直しを望む。

A

これまでに、停留所の場所や目的地までの行き方、乗換方法などについて、問合せや意見が寄せられている。市としては、まずは市内循環バスの周知に努め、商業などの分野と連携を図ることで、利用を促進していきたい。

(市長)



幸手市におけるプラスチックごみは



小林啓子議員

Q

本年4月「プラスチック資源循環促進法」が施行されることになった。幸手市では、令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業として、プラスチック製容器包装運搬選別処理業務が行われてきた。令和3年度について、令和2年度と比較してどのような傾向にあるのかを

A

令和3年度のプラスチック製容器包装については、1月末の処理量が637,391tで、前年度1月末と比較して25,911t減少している。次に、幸手市の施設には、市

役所やウエルス幸手など計27か所の施設に、64台の自動販売機、及びリサイクルボックスが設置されており、回収過程でペットボトルに異物が混入している問題については、ごみ捨てマナーの向上が重要であるため、市として広報・啓発活動を進めていきたいと考えている。
(市民生活部長)

図書館本館のトイレ環境について



枝久保喜八郎議員

Q

図書館は静かで落ち着いた環境が維持され、読書や勉学を主体に向学にいそむ市民に親しまれ、それにより長時間滞在者が多くなります。本館では一階と二階のトイレのいずれも男女共に和洋一器ずつと少なく、洋式は暖房水洗ではありません。今の世代は洋式で育っており、寒い冬に冷たい便

A

図書館本館のトイレの一部は洋式化されており、暖房や温水洗浄便座などの機能は付いていない状態です。図書館のみならずトイレにつ

いては、暖房をはじめ機能面について、もっと快適にしてほしいとのご意見やご要望もありますので、今後、順次、改善に向けて検討してまいります。
(教育部長)



安全・安心な街幸手市の防犯体制強化を問う



木村治夫議員

Q

埼玉県では、平成17年、愛称公募によりわがまち防犯隊として県内5800団体が活動している。市においても55団体の皆様によって、防犯パトロール・子どもたちの見守り・犯罪抑止等市内の防犯活動を強力に行っている。問、刑法犯認知数の推移について、自主防犯団体活動状況と市管理防

犯灯の設置数、LEDへの切替状況について、市民への防犯に関する意識啓発、また自主防犯団体等に活動を強力に支援する（必要経費補助等）ための施策についてを問う。

A

幸手警察署管内の全刑法犯は、令和3年422件、2年464件、元年544件、平成30年678件である。市管理の防犯灯は令和2年度末で1815基であり、このうち

1371基はLEDへの切り替えが済んでいる。自主防犯団体の主な活動状況は、児童の登下校の見守り、防犯パトロール、危険個所の点検など防犯啓発と安全・安心な街づくりに大きな役割を果たしていただいている。団体への支援策については、所管する幸手地区防犯協会と協議していく。
(市民生活部長)

市の行政課題と今後の取組は



武藤壽男議員

Q

本市においては、市庁舎の建替え等公共施設の老朽化、207橋の修繕や架け替え、530kmに及ぶ水道と320km余の水路の維持管理、水道施設の耐震や水害対策、下水道区域の拡張計画などのインフラ施設の整備、また、令和18年度までの計画で関連事業を含む計画事業費約118億円余の

西口区画整理事業、桜泉園の使用済み排気塔の撤去など、行政課題は山積している。
次の世代に先送りしてはならない課題ばかりであるが、市の今後の対応を問う。

A

市では、行政課題を将来世代に先送りする意図はなく、各事業の必要性や緊急性、さらには、国・県補助金に加え、事業費を平準化するため

に地方債の活用等も勘案した上で、各事業の実施を決定している。
一方で積立基金残高の減少傾向が続くなど、厳しい財政状況であるが、事業の「選択と集中」を徹底するとともに、各種使用料等についても受益者負担の原則に立った「見直し」を含め、限られた財源を最大限に有効活用していきたい。
(総合政策部長)